

3年生

教 科	成 果	課 題	重点取り組み
国語	・説明文の構成を理解し、自分の力で問いに対する答えを見付けることができるようになった。 ・説明文の構成を基に、自分も説明する文章を書きたいという思いが育ってきた。 ・物語文の叙述から、登場人物の気持ちを想像し、書くことができる児童が多い。 ・中心人物の気持ちの変化を捉えるために、物語全体の場面を見通すことが大切だと理解した児童が増えた。	◎作文の基本ができていない児童が多い。 (改行、「」、句読点、ら抜き言葉、い抜き言葉) ◎漢字の定着に時間がかかる。また、前学年の漢字が身に付いていない児童も多い。 ・登場人物の気持ちの変化を考える時に、表面的な変化しか捉えられない児童が多い。 ・一度で内容を全て理解したり、話の要点を聞き取ったりすること。	・日記の宿題や、日々の文章を書く学習の中で、作文の基本を繰り返し指導する。 ・漢字定着のために、書き順や字形などに注意して書くように指導し、文を書く際には習った漢字は積極的に使用していくことを意識させる。 ・集中して話を聞けるように声を掛け、話の要点をまとめる学習を繰り返し行う。
社会	・学校の周りだけではなく、区内の様子にも興味をもって授業に取り組んでいる。 ・地図記号や八方位などを確認して地図を読み取ることの良さを感じとり、興味をもって取り組む児童が多い。 ・区内の地図を頭にイメージし、社会科見学では、「大田区の南端まで来ている」など自分の位置を理解することができる児童が多い。	◎自分の考えを表現する際に、根拠を示して分かりやすく文章にする力が不十分である。 ・資料から問われていることを見付け出して表現する力が弱い。	・資料などから問われていることを読み取る機会を多くつくり、ノートやワークシートに記録する習慣を身に付けさせる。 ・自分の意見に必ず根拠をもって発言できるように、話型やワークシートを用いるなどして指導を行う。
算数	・基礎的な計算技能を身に付けている児童が多い。 ・授業で学習した基礎的な計算や内容は、繰り返し授業で解くこともあり、身に付いている児童が多い。	◎文章問題で質問に正対する答え方で、かつ正しい単位を付けて答える力が弱い。 ・問題の解き方を文章(言葉)で説明する力が弱い。 ・問題の解き方を考える際、解法を考え、図や式で表すこと。	・文章問題を扱う時、問題文を音読して問われた内容を丁寧に確認し、図式化する力を身に付けさせる。 ・解き方を一人ひとり考えた後、説明の仕方が上手な児童を紹介するなど例示をしていく。 ・隙間時間に九九を言わせる。

		・かけ算九九が定着していない児童がいる。	
理科	・観察や実験の過程で変化したことや、結果から分かったことを考えることができる。 ・実験や観察を意欲的に取り組む児童が多い。	◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすること ・一部の児童において植物や昆虫の観察を継続的に行うこと。 ・経験を重ね、実験・観察の技能の向上を図ること。	・多くの実験や体験の活動を取り入れるとともに、一人ひとりが実験や観察に携われるような方法を工夫する。 ・問題に対する予想や見通しを立てて、実験や観察に取り組ませる。 ・植物や昆虫の観察をデジタル記録していくこと。
音楽	・リコーダーを演奏したり、歌って表現したりすることに意欲的に取り組む児童が多い。 ・友達と一緒にリズム打ちをしたり、音楽に合わせて手遊びをしたりして、楽しく音楽活動を行うことができる。	◎曲想の変化や特徴を捉えたり、よりよい表現をするためにはどのように演奏したらよいかを考えたりするときに、音楽の言葉を使って自分の考えを伝えることが難しい。	・児童から出てきた言葉をカードにして常に掲示したり、児童の考えを教師が価値づけしたりするなどして、音楽の言葉で自分の考えを伝えることができるようにする。
図工	・説明をよく聞いて、落ち着いて取り組むことができる。 ・自分なりの思いをもって、最後まで楽しく取り組むことができる児童が多い。	◎表したい思いはもっているが、どのように表すか考えて自分なりに工夫することが難しい。	・制作の過程の中で、個々の児童へのひらめきや表現を肯定的に受け止め、褒める声掛けをし、自分らしさへの自信につなげていく。
体育	・めあてに向かって、努力を重ねて頑張ろうとする児童が多い。 ・約束を守って、安全に運動することができる児童が多い。 ・友達の良さを見付け、まねしようとしながら技能を身に付ける児童が多い。 ・苦手意識をもっている運動領域にも粘り強く取り組むことができる。	◎何を意識すれば、技能を高められるのかを考えながら運動をすること。 ・運動技能の習得に差が見られること。 ・体力が不十分であること。 ・自分の動きを客観的に捉えることが難しい。	・取り組む運動のコツがつかめるような学習資料を提示したり、動画をとって動きを確認する機会を多く設けたりする。 ・運動の楽しさを感じられるように取り組ませることで課題を解決できるようにする。 ・休み時間なども体力づくりの場として活用できるような遊びを提案するなど、運動する機会を増やして体力づくりを意識させる。